ふるさと(霞ヶ浦を中心とした周辺地域)の歴史・文化の再発見と創造を考える

第 100 믕 (2014年9月)

風に吹かれて(78

白井啓治

『遥々と歩いてきてまた遥々と歩いてゆく』

と歩いて来た気分ではあるが、振り返ると「何だ 宙ぶらりんの様に思われる事であろう。 始めたことから誌紙としては、何となく所在無く たのであった。色や形式には一切拘らないとして を掲げ、自由に物を言う誌紙としてスタートさせ まだ10号になっただけではないか」とも思う。 した周辺地域)の歴史・文化の再発見と創造を考える、 この「ふるさと風」は、ふるさと(霞ヶ浦を中心と この会報もやっとこ10号まで歩いて来た。遥々

思ったに違いない。 と思う。途中参加の方には、こりゃあ大変だ、と となく書いていることは自慢できることであろう れている人たち全員が、参加以来一度も欠かすこ 号までということではなく、風の会に参加してく しかし、よくやって来たものだと思う。特に、100

先ずは10年を一区切りに進めていけたら、と思っ これからどこまで続けられるかは分からないが

やって来たのであったが、振り返れば15年が過ぎ、 小生この石岡市へは、旅居のひと休みの気分で

> 年も住むとそれなりに心通じ合える友も増えてく どうやらここが終の地になるようである。 るものである。 なにできることはないだろうと思っていたが、15 暫し旅居の仮枕、 の小生に友と呼べる人もそん

海第二原発の再稼働を止める会」を結成し、 県議選に向けて、自ら代表となって政治団体「東 選挙管理委員会に届出した。そして8月28日、3 行兄が、7月30日に今年12月に予定されている 人の公認候補を発表した。 その友の一人である詩人で元美浦村長の市川紀 ・県の

政治団体を立ち上げたのである。 えてこないことから、この 12 月予定の県議選で多 たが、県が具体的にどう動こうとしているのか見 める署名を呼びかけ、30万人を超える署名を集め くの県民の声を反映させる機会にしたい、とこの 市川兄は以前より「東海第二原発の廃炉」を求

こそ、ここで断固NO!の声を届かせることは将 りえないことであろう。 の廃炉は、再稼働ありきの国の方針にとってはあ 審査を原子力規制委員会に申請している。 者である日本原子力発電は、再稼働に向けた安全 日本の原発の曙の地である東海村の、 現在停止している東海第二原発は、5月に事業 一原発事故以降初となる選挙である。であれば 茨城県議会選挙は、 福島

> である。 来に対して禍根を残さないために非常に重大な事

精卵への放射線照射実験で催奇性を立証し、世界 しょう!」に賛同したい。 った小生としても、 に大きな評価を得た故三上芳樹先生より教えを貰 ビキニ環礁で原水爆実験が行われていた時、 市川兄の 「何時やる?」「今で

せていただきたいと思う。 詩を掲載させて頂いたが、ここにもう一度掲載さ 一回朗読をさせて頂いた。 「ついに太陽をとらえた」をことば座の公演で、 福島第一原発事故について、 この会報にも市川兄の 市川兄の詠んだ詩

ふるさと風の会会員募集中!!

会報「ふるさと風」も、お蔭様で今年9月には創刊100号を迎え ます。ふるさと風の会では、「ふるさと(霞ヶ浦を中心とした周辺地域)の 文化の再発見と創造を考える仲間」 さと自慢をしたいと考える方々の入会をお待ちしております。 会の集まりは、月初めに会報作りを兼ねた懇親会と月末に雑談:勉 強会を行っております。

○会費は月額 2,000 円。(会報印刷等の諸経費) ※入会に関するお問い合わせは下記会員まで。

昇三 0299-22-4400 白井 啓治 0299-24-2063 打田 兼平智惠子 0299-26-7178 伊東 弓子 0299-26-1659

http://www.furusato-kaze.com/ ふるさと風の会

ついに太陽をとらえた

アインシュタインの美しい数式を覚えたて 何んと眩しい科学の地平だったろう ついに太陽をとらえた

あの少年の日 呪文のように唱えていた

紙面には黒々と活字が躍っていた

ついに太陽をとらえたと

ヒロシマ・ナガサキの悪魔の火ではない 茨城の東海の磯辺に「太陽」の火は燃えた

それは平和の輝きだった

理解をこえた

科学への少年の希望の光であった

恐るべき2011・3.11 そしてはるかに歳月は流れ

金まみれの亡者どもがそれを地獄の火に変えた 大ナイの津波の中に希望の光は消えていった

ドナ ドナ ドオナ ドオナ ドナ ドオナ

昼下がりの牧舎

牛たちが積まれて市場に向かう

ドナドナドオナ ドオ

繰り返される日々のくらしの風景

生きること生かされることへの感謝を

ある人は神に

ある人は自然の恵みにささげてきた

ごらん子供たち 父さんの涙を あの牛たちがみんなを助けてくれる

> 市川紀行 だがいまは見よ

愛惜の涙もなく 引きずられ追い込まれ トラックにひしめく牛たちの群れを

感謝の祈りもない

呆然と怒りに心をなくす

年老いた牛飼いびと ここはどこだ これはなんだ

牛飼いは何をしたというのだろう ただいつものように乾いた藁を与えただけ ただいつものように藁を食べただけ 牛たちは何をしたというのだろう つつましやかに手を結び こらえる男の白髪をみちのくの風が吹く

風よ 幾重にも幾重にも採られるべき すべての亡者どもに嵐となれ そこに想定外などあってはならぬ セーフガードの方式と方策 白髪の髪を吹く風よ

そこで科学は死んだ その本然の使命が消えた 自己保身に金をばら撒き 金を惜しみ金を溜め込み ついぞ人々の命のために使わなかった亡者ども ついぞ人々のためには使わぬ亡者ども

すべてを津波に押し付け 神話を撒き散らしすべてを隠し 拝金の世に亡者どもの穢れが漂う 咎もなき野の民に里の民に海の民に目をそむけ

なお安眠をむさぼる地獄行きの亡者ども

お前たちも金の亡者だ 愚劣な神話 どこへ消えたのか追従と自己顕示の教授らよ どこへ行ったのかいつわりの学者らよ まやかしの専門家 科学を汚す拝金の徒 亡者の顔に化粧して長らえているの テレビでメディアでとうとうと説教していた いまは邪教の経典

悪魔の灰中を駆け巡る科学者たちの姿は 職を賭し 勇気を与え続ける真正の科学者たちよ スピーディを隠そうとも メルトダウンを隠そうとも 科学者の誇りと使命にかけて 科学の良心と正義にかけて おまえたちには眩しかろう 緘口令職を辞し

汚染の土と作物をいとおしむ農のやるせなさを あなたたちの目は見つめている 悲しみに瞳をあげるおさなごたちを いま寒さに向かって震える無垢の人々を

金に群がった政治の亡者ども 許してはならぬ

さも正当論者ぶる俗物を 許してはならぬ オッペンハイマーの誠実と勇気を信じよう 物理学の研究者たちを責め

「原発はこわくない」
「原発はこわくない」
「原発はこわくない」
「原発はこわくない」
「原発はこれない原発の恩恵」
「放射能は健康にいい」
「放射能は健康にいい」
「放射能は健康にいい」
「放射能は健康にいい」
「前の知ったかぶりの似非インテリーの賜物」
許してはならぬ

亡者どもをたしかに免罪するきみらもまた

きみらはそれを言えるか

それをいえるかとれをいえるかとれをいえるからは顔を赤らめることもなくとみらはそれを言えまからはそれを言えまなく追われた人々の前で

それがどうしたというのだ否定しえない現実をあげつらう遠く離れた安全の地で厚顔無恥の亡者ども

「それで食ってきた市町村」と

「あなたたちも原発の恵みを受けてきたんだ」と

東京湾の真ん中に悪魔の巣をつくれ値段もつかぬ「フクシマ」の地に住めそれがなんだというのだ

繰り返しくりかえす 大手を振り出す亡者の擁護人ども 大手を振り出す亡者の擁護人ども まれみのそぶりのこの国の歴史 に却をそそのかし に却をそそのかし に対をできる 情喝し に対をそそのかし はいかんしくりかえし

死の町だ ゴーストタウンだめの懐かしい町並みではない風の音もなく鳥も鳴かない風の音もなく鳥も鳴かない人っ子ひとりいない

いけにえに世論は沸き亡者どもは一息ついた「死の町」はいつもメタフォーなのにその男は大臣を辞めたとの男は大臣を辞めたとといる人々を侮辱したといとりの男が「死の町」といった

低級なおもねりのメディアが騒ぎ始めた同級生を悼んで「馬鹿もん」といった一人の男が「逃げなかった馬鹿もん」といったその男は大津波に姿を消したといった連波で逃げない男がいた

「津波の犠牲者を大臣はばか者扱いした」「犠牲者をバカといった」

覆うべくもない言葉への無知と感性の欠如だあげつらう低能記者のみにくさは

額をつつき「このおバカさん」と愛する恋人の失敗にときには言うだろう涙のなかに「このばかやろう」と自爆事故で死んだ友人にだれでも言うだろう

権力とメディアに結びつく亡者どもの薄笑い悪者をつくりだすを当の加害者から世論の目をそらすことの誰もが知っている

落ちてはならないというではならないでが今度は落ちない国も人々も暗黒に沈んだ日本の歴史既にみたものすでに経験したもの既にみたものすでに経験したもの言葉狩りもデジャビュウだ言葉狩りもデジャビュウだ

地殻のうねりはM20だろうと止められぬ にていたあわれなわたしよ 信じていたあわれなわたしよ が支配の不可能も知ってはいたが との不実な自分も許せぬひとりだ をの不実な自分も許されていた

かの東海のむら長よおお 友よ 永年の親しき友よ

へつらいの亡者ども言葉金の亡者ども

はるかに遠くへつらいの亡者ども言葉狩りの亡者どもから

兄の言葉は真実を語る

この東海村の原発は廃炉にすべきと

金では魂は売らないと

多くの命の危機を救った友よJOCの未曾有の臨界事故で

国は動かず県も動けず

そのさ中第一に思う市民のいのち一秒を争い放射能は拡散する

洞察とイメージと全感性の命じるまま

村単独の市民非難は実現した

有りえざる臨界がおきていたのだ 「責任は俺がとる」どんな結果でも俺がとる」

亡者どもよ 見よ

似非科学者よ 思え

ここに一人の冷徹な情熱の男がいる金につるんで口ごもる言論の徒よ 思いしれ

真正な社会科学の実践者がいる

金で魂を売るわけには行かぬ百万人の命のために「百万人の命のために」百万人の未来のためにだがわたしは3・11を見てしまった――東海の原子力の恩恵は認めよう

きみが倒れたら人間の直接性が倒れるきみが倒れたらひとつの直接性が倒れる友よ 兄よ 村上達也よ

不毛な没理論が仕返しを企むだろうしがみつく過去の亡者どもが足を引きずるだろう亡者どもの切っ先はきみを貫くだろう

きみが倒れたら未来の直接性が倒れるのだそれは日本のかけがえのない未来だだが友よ 君は行く 子供たちの未来へ

去年の春

大欅のさみどりの葉群に春風遊び

こぞの秋

その大枝は強い野分に揺れて楽しみ

冬 千万の落ち葉を撒いた

堆肥に積むもならず燃やすもならず 魔女の箒のすすのために 三百年の大けやきよ晴れ渡る秋空の下

悪魔の泣子は筑皮をまつ*り* 落ち葉の集まりは測る線量も高いのだ 除染する一輪車を押す手も足も重い

魔女の箒は霞ヶ浦を撫でて南下した悪魔の粒子は筑波をまわり

今日の落ち葉を捨てに行く孫娘が幼稚園から帰らぬうちに

静かに 身にしみるようにそう 彼は原発の危うさを言っているのだ「知らなかったということは罪なんですね」世界に誇る指揮者のつぶやきを思い出す一輪車を押しながら

私には見ることが出来ない「その冷酷なくらしを(ああ「遠くから歌ってはならぬ)

相馬から いわきから津波と悪魔に追われた詩人たち 歌びとたちよだからもっと伝えてほしい

学窓の友のいた宮古から

林檎と桃と牛馬の里山から賢治のイギリス海岸から

怒りを耐えて助け合うみちのくから林檎と桃と牛馬の里山から

友のうたう歌が聞こえる耳を澄ませば

たどり行く 幼き日々の

暮れなずむ 空のあかねにみどりなす ふるさと

たたかいに 破れしこの身振りむけば たぎり落つ涙

いましばし 眠らん

ふたたびの のぞみに満ちて いのちなる ふるさと いのちなる 峠をこえて いのちなる いまなざし

明日の日を

掴まん

真実の科学の扉は人間に翼をあたえるああ 思えば少年の日の神秘よ「ついに太陽をとらえた」

そのときお前を待つのは裏切りだ不可能の錬金術師の手に落ちるな透明に透き通っていよ

峰々は白く冬のおとずれあざやかな紅葉模様のはるかみちのくの秋は早い

こんなにも遠い湖畔の村でなにもなかったように金色の銀杏は山奥に捨てられ朽ち果てるもうそんな姿はここにはないのだ

(二〇一一年十一月)

加をお待ちいたしております。 里を救う)をお願いしています。多くの方のご参9月21日午後一時半より記念講演(文化力がふる市川兄には、「ふるさと風100号祭」の初日、

※ふるさと風100号祭は、21日~23日まで、※ふるさと風100号祭は、21日~23日まで、

先進国の奢り(2)

菅原茂美

め鯖が滅多に口に入らないという。ばかり。最近は、サバさえも極度の不漁とか。締ばかり。最近は、サバさえも極度の不漁とか。締不ぎ獲りまくる。そのため、絶滅危惧種は増える一網打尽。電波探知機を備えた近代漁業は、根こ一の「乱獲」も困ったもんだ。先進技術の乱用により、「乱獲」

無国しながあれ、金に関するので利が責所。国の強欲どもが、向こう見ずの暴挙に出る。が無限大の訳はなかろう。小学生でも分かる道理が無限大の訳はなかろう。小学生でも分かる道理が無限大の訳はなかるう。小学生でも分かる道理が無限大の訳はなからず、山菜、高山植物、愛玩用小動物、漁業に限らず、山菜、高山植物、愛玩用小動物、

印を押しているが、こういう押印が犯罪につながか。私は今でも働いており、何の抵抗もなく出勤も情けない。いつまで、あんな印鑑を重視するの日本がこんな国際犯罪を陰で糸引くとはなんと

っているとは?

の要ありと思う。

日本列島の先住民族「アイヌ」は、必要最小限日本列島の先住民族「アイヌ」は、必要最小限が入類だ。

k

では「過労死」の問題。「KAROUSI」として世界に共通する、こんな不名誉な日本語。 しかて世界に共通する、こんな不名誉な日本語。 しかて世界に共通する、こんな不名誉な日本語。 しかて しか では 「過労死」の問題。 「KAROUSI」として いいしょう

的負担が大きく極度の疲労を招く。脳溢血・くも暗黙の強制があり、長時間労働で、精神的・肉体過労死は、先進経済大国などに多く、周囲から

うにできている。 農下出血・心筋麻痺などで突然死する。死ななく 関下出血・心筋麻痺などで突然死する。死ななく 関できている。企業ののに力で、 のは、労働基準法に違反しても罰金はわずか30万 のは、労働基準法に違反しても罰金はわずか30万 のは、労働基準法に違反しても罰金はわずか30万 のは、 のに力で、 のに対して、 のにが、 のにが、

構図によく似ている。金を巻き上げろ!という事らしい。法律ができる人は金を使わないから、不特定多数の貧乏人から一説によれば、金持ちになりたければ、裕福な

いもんだ。たぶん、鳥の濡れ羽色に相違ない。(はらわた)」を解剖して、その色をしみじみ見たそれだけ重大な意味を持つ。そんな国会議員の「腸だ。投票に行かなかった棄権者も同罪。選挙とは、だ。投票に行かなかった

急成長する裏には、必ず大きなリスクが伴う。見ても、日本よりはるかに高い。とにかく経済がも、毎年過労死者6万人と言われる。人口比から素地があった。もっとも最近は発展途上の中国で素勉日本の裏には、多数の過労死を生むこんな

を動しなければ、画併こ帚ける。 を始めてから四半世紀を要した。過労死等防止対策推進法」が成立した。準備も「過労死等防止対策推進法」が成立した。準備も「過労死等防止対策推進法」が成立した。準備を始めてから四半世紀を要した。過労死は個人のを始めてから四半世紀を要した。過労死は個人のを始めてから四半世紀を要した。過労死は個人のを対しなければ、2014年6月20日、日本で

人という。これは氷山の一角。3代男性のおよそ労災と認定された人数は、1年度全国で742

5人に一人(18・2%)の144万人は、週6時5人に一人(18・2%)の144万人は、週6時間以上働いている。 まれば、1日平均1時間働いていることになる。然し、白書によれば、週5時間以上働いせてはいけない…となっているが、残業手当支払いを条件に協定すれば、月4時間までは、労働を許されている。然し、白書によれば、週5時間以上働いている。労は、英国12・1%、フランス9%に対し、週休2日とは、31・7%でダントツである。

見て、しみじみそう思う。 ぐべきものではない。私は熱帯の人々の暮らしを 文明の進化は、過酷な犠牲もいとわず、先を急

安定した人類の未来がある。 「種」の寿命を人類の過去9代の平均値5万年 「種」の寿命を人類の過去9代の平均値5万年

最近は、「ブラック企業」といい、若者を酷使し

た上に使い捨てにする悪徳企業が多く見られるとた上に使い捨てにする悪徳企業が多く見られるとたれるという。正長一人が正規社員で、他は全員しても辞めるといえば、損害賠償を請求する事例しても辞めるといえば、損害賠償を請求する事例しても辞めるといえば、損害賠償を請求する事例しても辞めるといえば、損害賠償を請求する事例とおれ、過労でも辞めるに辞められない。こんなで、イトに陥ったら学生は、学籍放棄。即ち大学中がイトに陥ったら学生は、学籍放棄。即ち大学中がイトに陥ったら学生は、学籍放棄。即ち大学中がイトに強い捨てにする悪徳企業が多く見られるとた上に使い捨てにする悪徳企業が多く見られるとた上に使い捨てにする悪徳企業が多く見られるとたという。

スクを背負っているのなら、最低の文明国だ。秀さが云々されるが、過労死など、陰でこんなリ国などナンセンスの一語に尽きる。日本企業の優何が文明国だ? 人権が真から尊重されない先進利が国のこんな現況を見れば、何が先進国だ?

*

次に私がカチンと来ているのは賞味期限切れの

っていないの一言に尽きる。 日本の食糧事情は今その自給率は3%。こんな 見な農地は耕作放棄。多くの補助金をつぎ込んで 良な農地は耕作放棄。多くの補助金をつぎ込んで 良な農地は耕作放棄。多くの補助金をつぎ込んで とされば転作保障。地目変 財地整理した農地を休ませれば転作保障。地目変 は、しかも優

日本人は6割の人は死ぬほかない。自給率8%なれる…など諸々の原因で輸入ができなくなれば、齲を生じ、いわば仲たがいで、輸出がストップさいまれるなど、輸送困難、あるいは貿易協定に齟込まれるなど、輸送困難、 異常気象や戦争に巻き

糧で 1 人がどうやって生きていける? 八分に医者要らず…とも言う。しかし4人分の食ら、何とか分け合って国民は生きて行けよう。腹

【人類進化の過程で、巨大な火山噴火のため塵 、大類進化の過程で、巨大な火山噴火のため塵 、大類進化の過程で、巨大な火山噴火のため塵 、大類進化の過程で、巨大な火山噴火による。 、大道ない。あんな巨大津波が来るはずがないと見 ではない。あんな巨大津波が来るはずがないと見 ではない。あんな巨大津波が来るはずがないと見

それ以上の意気込みで防災投資を図るべきだ。

2020年のオリンピック投資はやむを得ないが

が、514や1014の津波を考えていたら甘すぎる。

1 以であった。 東京の平均的標高を私は知らない

代の滅びゆく一国によく似ている。 世の算数じゃあるまいし、世の日本は、戦国時にも気づく単純な戦法だ。今の日本は、戦国時に、食糧輸出国は「兵糧攻め」と来るのは目に見ば、食糧輸出国は「兵糧攻め」と来るのは目に見せの算数じゃあるまいし、世の中はそんな単純な生の算数にやあるまいし、世の中はそんな単純な工業製品を輸出し、その金で食糧を買う。小学工業製品を輸出し、その金で食糧を買う。小学工業製品を輸出し、その金で食糧を買う。小学工業製品を輸出し、

ですか?・永田町界隈の皆々様。 にすか?・永田町界隈の皆々様。 を対して目が覚めないのであろうか。国の将来はどうなれ、今の今、オレが高禄を食み、権力をはどうなれ、今の今、オレが高禄を食み、権力をはどうなれ、今の今、オレが高禄を食み、権力をはだらなれ、中界第3位の経済大国日本の首脳部は、こんな田舎の一庶民に、これだけ悪口をたたか

有り難く完食するならまだよろしい。ところが、さてそのようにして世界からかき集めた食糧を、

わず何と言えようか。 品までバタバタ捨てる。これが先進国の奢りと言ようがないとしても、食中毒など起こし得ない食は到底理解できない。腐敗変質しやすいものはしれすれのものまで、すぐ捨てる。この心理は私に何を血迷うたか、賞味期限とやらを設け、期限す

世界に迷惑をかけないためにも、可能な限り食糧 は高く買ってくれる人に自然と流れていくもの。 のが何とも嬉しい。近所の方々に喜んで頂けるの は自給自足すべきである。その自覚からといえば を買う。経済学の細かい理屈に私は疎いが、物資 な不条理が許されてよいのか。当然途上国の恨み の横暴に、途上国は辛酸をなめさせられる。こん な国の人々は、その穀物を安く買えない。 金持ちだから世界の穀物を買い漁るお陰で、 として食べれば一人しか生きていけない。 の命を維持できるのに、それを家畜に喰わせ、 いる。新鮮な野菜を孫たちが喜んで食べてくれる 大げさだが、最近私は家庭菜園に大いに嵌まって 大体にして穀物をそのまま食べれば 真に嬉しい。 10 日本が 先進国 人の人 貧困 肉

*

る。防災は大丈夫か?かがなものか? 東京圏に3500万人も居住すかがなものか? 東京圏に3500万人も居住す

チュード9に耐えられるのか?
しっかり守れるのか。巨大ビルは、すべてマグニゴミした大都市は、住民・通勤者の生命・財産をう。だが、直下型大地震などあったら、あのゴミ東京人は文化都市「大東京」を自慢したいだろ

侵入したら、無数の犠牲者続出は必定。まず停雷地盤に亀裂が入り、津波の大量の水が地下街に

を言 経験したばかりだ。最大遡上高は、なんと40・2言 漏りとは訳が違う。東日本大震災の津波の猛威をい食 槽を造っているようだが、津波はちょいとした雨はし 当然満水で捨て場がないはず。地下に巨大な貯水は とえポンプが動いたとしても、水を捨てる河川は、感す で水を汲み出すポンプが動かなくなるだろう。た

世界流行病)」の襲撃。死亡率の高いエボラ出血熱(世界流行病)」の襲撃。死亡率の高いエボラ出血熱けで身の毛がよだつ。近年貿易はグローバル化し、けで身の毛がよだつ。近年貿易はグローバル化し、けで身の毛がよだつ。近年貿易はグローバル化し、は水子の動物で発症しなくとも、宿主を換え、人体はその動物で発症しなくとも、宿主を換え、人体はその動物で発症しなくとも、宿主を換え、人世界交流は甚だしい。アフリカの野生動物の病原は不必変に、一溜まりもない。累々の死屍。考えただなどのエマージング感染症(新興感染症)が侵入しては、アンディックを強いない。といいないは、アンデミックは、世界流行病。」の襲撃。死亡率の高いエボラ出血熱は関係を対している。

はいけない。
細菌の生命力の方が上だ。人類はのぼせあがって
細菌の生命力の方が上だ。人類はのぼせあがって
しても、病原体はその上を行く。人類の頭脳より、
は再興)感染症。人類がいかに優れた薬品を開発
人類が滅亡するとしたら原因は恐らく新興(又

げる。モグラもどき(地下街住人)も死なずに済む。散すれば地方の過疎化も防げる。過密ダイヤも防現代はテレビ電話会議ができる。政治も経済も分種市機能は分散すべきだ。一極集中しなくとも、

童子女 (おとめ) の松原公園

小林幸枝

松原公園」のことを知らず、一度も行った事が無 いというので一緒に出掛けてきた。 私の妹は神栖に住んでいるのですが、「童子女の

像を取り巻いています。 姿をした男女二人の立像があります。波崎砂丘の 松の木に変身したという伝説にちなんだ公園です。 恋の物語の舞台となった場所で、愛し合う男女が 海岸線には松原が続き、この公園でも松が二人の ここは「常陸国風土記」に記されている男女の 神栖市にある「童子女の松原公園」には古代の

思いはますますつのり、喜びは増していった。い 原と呼ぶようになったという」 になった。これ以来、付近を童子女(キレヒめ)の松 なってしまった。郎子が変じた松は奈美松(なみま てしまう。これを恥じた二人はとうとう松の木に が終わったことを知った。朝になれば人に見られ まさに恋人の逢瀬にとっては絶好の状況だった。 の下で語り合った。月が照り、松風のうたうなか、 会ったのは歌の会のことだ。予期せぬ偶然に、二 逢わぬ間に互いに恋に落ちていた。その二人が出 ともに美しくその評判は互いの耳にまで届いた。 は海上安是嬢子(うなかみのあぜのいらつめ)といった。 田郎子(なかのさむたのいらつこ)といった。少女の名 年と少女がいた。少年は童子姿をしており那賀寒 つ、嬢子の松は古津松 (こっまつ) と呼ばれるよう つの間にか鶏の鳴くときとなって、二人は甘い夜 人は気持ちを抑えることが出来ず夜陰にまぎれ松 二人はいつしか逢いたいと思うようになり、まだ れています。「離れた土地で、別々に神に仕える少 常陸国風土記には二人の物語を次のように書か

> 渡ります。 た二人の決して変わることのない絆にちなんだ童 子女の鐘が設置されており、美しい鐘の音が響き あちこちに配置されていました。永遠の愛を誓っ 鬱蒼とした松林に囲まれて埴輪のような土器が

美しい男女の二人が愛し合う詩を詠っているよう しく舞ってみたいなと思った。 に思いました。そして、この松の林で万葉集を美 私は、松の囲りをみて、松林の中、月が照り、

榎浦の津はどこに 進

歴史を調ベホームページなどで紹介を細々と続けて 国府があった古くからの歴史が眠っている町に興味 り歩いてきたこともあり、この石岡という常陸国の で、78号からの参加ですので会員の諸先輩方々に のがあります。とはいえ会員の中では一番の新参者 それまでどちらかというと新興住宅街を何箇所か渡 とってはよちよち歩きの赤ん坊のようなものです。 欠かさずによく続けてこられたものだと感慨深いも を覚えるようになりました。そして自分なりに町や たことを少し紹介させていただきたいと思います。 つき、こうして原稿に向かっています。 した。8年以上の間、毎月20ページ前後の会報を した。夏の日差しがようやくやさしくなって一息を この風の会も今回で記念すべき100号となりま 石岡には今から10年ほど前に移り住みました。 私がこの会に参加させていただくきっかけになっ せみの声も日増しに衰えて虫の声が聞こえ始めま

> 町の情報などに触れると、「ここは、なんか活気の無 ツつぶやいている日々が続きました。 り、相手にされないんだな」などとひとりでブツブ い町だな」「歴史などといっても誰も興味など無いな 「一所懸命に町おこしをやっても所詮はよそ者であ しかし、そんな中で他所の同じような歴史のある

関係の人たちとのコミュニケーションではこれから もしれないとの不安が心の片隅をよぎって行きまし 長い第2、第3の人生を乗り越えていけなくなるか ことです。定年後に時間が有り余るはずだし、 そう、それは長年勤めた企業を定年退職した頃

を出したのです。 などとこの会の白井主幹より誘いを受け恐る恐る顔 た地元のグループに飛び込むことが出来ません。「こ のです。でも都会育ちの企業人間はなかなかこうし 合う機会があり、一度参加してみたらと薦められた んど話し合いの場があるから顔を出してみませんか、 そんな時に家内が先にこちらの会の人たちと知り

その時に初めて会話した内容は

てきたばかりです」 「いえ、地元ではありません。5~6年前に越し 「木村さんはこちらの出身ですか?」

でもありました。 りで愚痴をこぼし、ウジウジしている私には衝撃的 せたいと頑張って熱心に活動していたのです。ひと ばかりが集まって、「ふるさとに残る文化」を根付か ほとんどがよそ者ですよ。どうしてなんでしょうね。_ そうなのです。この会のメンバーたちは、よそ者 「やはりそうでしたか。この会の他のメンバーも

それから長い月日がかかりました。月に1回といえ しかし、皆さんが熱心なので逆に会に入るまでに

おりました。

させていただくことにしました。とせていただくことにしました。その後ブログも始めそのハードルが幾分下がった頃に思い切って参加るなどとも考えてしまいました。その後ブログも始いるのです。文章など書くのが苦手な私にはこのハードルな高いものでした。またこの会の読者のレベードルは高いものでした。またこの会の読者のレベードルは高いも対しました。

ることを願っています。の頃にはふるさとに誇れる文化が大きく花開いていが遠くなる長さです。それまでこの会報が続き、そっての100号はこれからまだ6年半も先です。気っての北のながら悪戦苦闘しております。私にといまでもこうして原稿期限切れで迷惑をおかけしいまでもこうして原稿期限切れで迷惑をおかけし

隅に追いやってしまい、錆付いた頭で考えたので る東海道駅路) という展示会が土浦市の「上高津貝塚 すから一笑に付していただいて一向に構いません。 無く、まして歴史などつまらぬ学校教育で頭の片 えていくと、どうしても納得できない気持ちにな なのですが、古いものを追いかけ、形のなくなっ それをそのまま鵜呑みにしてしまえば簡単なこと の駅家(うまや)の場所などを推定されています。 介してみたいと思います。勿論沢山の専門家の 常陸国のルート」に関する私の一つの考え方を紹 持ったきっかけとなった「古代東海道の下総国と ふるさと歴史の広場」で行われました。 ることが多くあります。考古学や民俗学の知識も た場所で昔の人々の暮らしに思いをめぐらせて考 方々もいろいろなルートを考察しておられ、古代 昨年は常陸風土記が編纂されてから1300年 さて今回は私が石岡に来て最初に歴史に興味を 各地でいろいろな記念イベント 同時にこ

と。色々なことを教えていただき大変参考となりまし色々なことを教えていただき大変参考となりまし盛況だったと聞いています。この内容もかなりの古代のみちに関する講演会も数回行われ大変な

に記載された内容を一部抜粋します。 1300年前に書かれた常陸国風土記の信太郡

きる。」(口訳・常陸国風土記より) 島の大神を遥拝し、そののちに国に入ることがでいった。まづ口と手を洗ひ、東に向き直って香が置かれてゐる。伝駅使(はゆまづかひ)らは、この地が置かれてゐる。伝駅使(はゆまづかひ)らは、この地

と書かれています。

利根川に挟まれた流域です。 ヶ浦にかけての流域、もう一つは今の利根川と新君山などに面する今の小野川沿いの芳賀浦から霞ます。一つは古渡(ふっと)から江戸崎、小野、下ます。一つは古渡(ふっと)から江戸崎、小野、下この「榎(え)の浦」には昔から2つの説があり

「碓氷から西に行くと高来(たかく)の里がある。

の候補に上がっています。 普都の大神は物部の神で、香取神宮の祭神であ の候補に上がっています。高来は阿見町の阿弥 る「経津主神」のことです。高来は阿見町の阿弥 る「経津主神」のことです。高来は阿見町の阿弥 が展神に上がっています。そし をすべて脱ぎ去っ をすべて脱ぎ去っ をすべて脱ぎ去っ をします。 をしまする。 をしまる。 をしまする。 をしまする。 をしまする。 をしまする。 をしまする。 をしまする。 をしまする。 をしまる。 をしまする。 をしまする。 をしまる。 をしまる。 をしまなる。 をしまする。 をしまる。 をしる。 をしる。 をしる。 をしまる。 をしる。

信太郡の郡衙の場所も未だ特定にいたっていませんが、現在では郡寺とみられる廃寺の遺跡が下君山で発掘されて下君山説が強くなっています。でぼんやりとした一つの仮説が浮かんできましたの後美浦村信太の楯縫神社近くに移り、古東海道のルートが霞ヶ浦を通らずに土浦の陸上を通過するようになる頃に下君山に移ったものと考えました。この美浦村信太に郡衙が置かれていた頃に常を国風土記は書かれたと解釈するとこの榎浦の津陸国風土記は書かれたと解釈するとこの榎浦の津は今の江戸崎辺りになるはずです。

ら今の利根町に舟で渡ります。 舟で新木から布佐近くで一旦陸に上がり、布佐か舟で新木から布佐近くで一旦陸に上がり、布佐か舟で下ります。それから今の手賀沼はもっと広く近 から常盤平の方に進み、その先から大津川をかんできます。下総国国府(今の千葉県市川市国府台付かんできます。下総国国府(今の千葉県市川市国府台付

根本、根火などのあたりから現在の霞ヶ浦に漕ぎ らまた舟に乗り榎浦の津(江戸崎)に上陸してやっ ことから付けられた名前だといわれていますが、 街道)江戸時代初期(水戸街道)まで頻繁に使われて 真ん中に「南根本」という地区があり興味を引く 陸したのでしょう。 石岡の地には高浜の西の北根本または中津川で上 めに横断するかまたは菱木川あたりを遡るかして、 出し対岸の旧出島村に渡ります。そして出島を斜 す。その後信太から陸平(おかだいら)の西側の牛込、 と常陸国に入ったという気になったのだと思いま 稲敷市根本付近で上陸し陸を少し歩いて小野川か るとここ利根町根本寺(押戸)から阿弥陀寺のある 名前が気になり、根本を追いかけてみました。す ます。しかし、私の考えではこの「根本」という 通経済大付近に上陸したのではないかとされてい 今は高台で下には田んぼが広がっている場所です。 本寺周辺の道です。押戸は昔ここから舟を出した の蛟蝄(こうもう)神社の門の宮辺りから押戸の根 道として残る道が残っています。それは文間地区 変わっていきますが、現在の利根町に古い鎌倉街 いました。ここからのルートが時代により大きく 古東海道を扱っている多くがここから龍ヶ崎の流 ここから舟に乗って何処に渡ったのでしょうか。 この布佐から利根町へのルートは戦国時代(佐竹 出島(現かすみがうら市)のほぼ

田市荒海(延喜式の荒海駅想定地)から舟で渡ってきたかれています。そして古東海道は利根川対岸の成稲敷市柴崎地区の新宿遺跡あたりではないかと書うちに考え方も変わるかもしれません。なお前述うちに考え方も変わるかもしれません。なお前述またこのことには現地などを訪れて調べていく

の頃までに大分ルートも変わったかもしれません。られたのは200年近く後の平安中期ですのでそという解釈をされています。ただ延喜式がまとめ

川中子一周し園部川河口へ 伊東弓子

大田さんからの丁寧な説明を疎かにした為、川中 大三さんからの丁寧な説明を疎かにした為、川中 大三さんからの丁寧な説明を疎かにした為、川中 大三さんからの丁寧な説明を疎かにした為、川中 大三さんからの丁寧な説明を疎かにした為、川中 大三さんからの丁寧な説明を疎かにした為、川中 大三さんからの丁寧な説明を疎かにした為、川中 大三さんからの丁寧な説明を疎かにした為、川中

前回の反省をもとに今回三百五十年位前の川中子村の絵図を掲載した。寛文十一年(「六七二)に中子は後から出来た所だから…」と、少し見下げ中子は後から出来た所だから…」と、少し見下げた言い方をするのを聞いたことがあるが、至ってた言い方をするのを聞いたことがあるが、至ってた言い方をするのを聞いたことがあるが、至ってた言い方をするのを聞いたことがあるが、至ってと笑って話してくれた人もいる。そういう状況の中でも古文書が大切に扱われてきたことは限りの中でも古文書が大切に扱われてきたことは限りの中でも古文書が大切に扱われてきたことは限りの中でも古文書が大切に扱われてきたことは限りの中でも古文書が大切に扱われてきたことは限りの中でも古文書が大切に扱われてきたことは限りの中でも古文書が大切に扱われてきたことは限りの中でも古文書が大切に扱われてきたことは限りでも対している。

なった。昭和二十年末から三十年代、全国に一躍板を降りて、旧玉川農協を左右にみての出発と

集落センターに車を置いていよいよ歩き出す。 生産は米から蓮に変り、田余農協と合併しJA 今生産は米から蓮に変り、田余農協と合併しJA 組合長を中心に農協、村民が一致団結した時代だ。 土地の少ない村が農業でどう生きていくか、玉川 有名になった玉川農協の古い建物だ。貧しい村が、

壁無稲荷は現在の家並みから離れた田の中にある。墓や畑も所々に見える。耕地整理される以前る。墓や畑も所々に見える。耕地整理される以前でっかい舟が出入りしていたよとその土手にあじでっかい舟が出入りしていたよとその土手にあじが屋もあって鮒をとっていたよとその土手にあじい。生産物を運ぶのに不便だった昔は、生産の場い。生産物を運ぶのに不便だった昔は、生産の場にがでいた正しだろう。石橋仁衛門の氏神としるされていた。

大きな流れだった所を真直ぐ行くと、田の一角大きな流れだった所を真直ぐ行くと、田の一角大きな流れの中で舟は蛇行して舟まわしをしたと大きな流れの中で舟は蛇行して舟まわしをしたと大きな流れの中で舟は蛇行して舟まわしをしたと大きな流れの中で舟は蛇行して舟まわしをしたと大きな流れの中で舟は蛇行して舟まわしをしたと大きな流れの中で身があちこちにあった。以前は神で蓮掘りをして突きぬき井戸で体を洗ったもんがに背丈の違う一角があちこちにあった。以前は神で蓮掘りをして突きぬき井戸で体を洗ったが、遅い泥に埋もれてか土佐塚の由来を知だという。深い泥に埋もれてか土佐塚の由来を知ばという。深い泥に埋もれてか土佐塚の由来を知ばという。深い泥に埋もれてか土佐塚の由来を知ばという。深い泥に埋もれてか土佐塚の由来を知ばという。深い泥に埋もれてか土佐塚の山地であるという。

5幡坪を歩いて土手を上ると新川岸といわれた

することにした。水で溺れた馬を埋葬したという 間も予想よりかかっているので、川尻川は次回に 地区の人達が火災の心配をして草刈りを役所に依 の一人一人に呼びかけていきたい。 Kさんと美霞エイトのみなさんのご苦労を思い出 植えたり、ごみ拾いの活動をしてきたリーダーの を思い出す。 の箸を使った話など聞かせてくれたあのお爺さん 玉造の方からこの地に着いた日本武尊の食事に葦 込まれた部落や家族の苦しみ悲しみが胸を覆った。 所に馬頭観音の碑があった。あらためて水に飲み 防の作られた線がよくわかる。 水神様や道祖神は何とみて何んときいただろうか 然保護としていい場所じゃないかと言われたとか 頼したが、予算がないとの事、 った」と懐かしそうに語っている人もいた。この 今は更地になっていた。「ここから桃浦に遠足に行 番川岸の留守をし、渡し守をしていた。その家も そしてここに越番川岸があり、畳屋の姿さんが越 太い竹、細い竹沢山積んで行った。伊関、 子へと商船が出入りしていた。下馬場、 船着き場があった所だ。ここから牛堀、 つ二つ白い花が咲き始まった。その間を通って堤 堤防からは一面蓮田が目に入る。一枚の田に一 後に続く人たちであってほしいと、この会 先の方に桜の木が見えた。この木を 暑さも加わり、時 逆に野鳥、 潮来、 他の自 銚

はえて

川岸」とよばれ、 すべりの場であったという。 語があっただろう。東北の堀跡は冬は子供達の氷 いわれている。この良い場所にも時代の変遷の物 出入りと水の守にあった大掾家の出城であったと 山城と違って平らな所にある。 くりが盛んだったという。 城之内館(玉里八艘の一つ)は、 、醤油づくり、 目の前は 他 港 味噌づくり、 Ł (大枝の津) ラケ所 「しょっぺ の出 へ の

いて

松風の音は

通る人の耳に心

地よか

った

聞いていたが、いざ目の前でみると驚いたの何の 魚を釣っていた。感心して見ていると行き成り追 と話しが続いた。土浦で郡役の仕事をして帰りこ 近道だったし、本通りだった。面白い話があるよ 妙見を通って山田峰にぬけて行く通りが高浜への そと家に帰ったという。 で酷い恰好だった。明けはじめた道を男はこそこ 出来なかった…。気がつくと墓場の中で泥まみれ って走っても走っても芦が深く、脱け出ることが いかけてきたそうだ。妙見の狐が悪さをする噂は ている狐を見たそうだ。狐は自分の尻尾で上手に の道を通る男がいた。ある夕方水辺で魚釣りをし ったと語る。先通ってきた川中子の越番川岸から 結果として野山はきれいだった。この山もそうだ 家にも牛や馬がいたから草刈りは一仕事であった。 あることが村史にも載っている。 妙見山古墳は木々で覆われている。 城之内館と妙見山が関係 以前はどの

ギター文化館

SERIES CONCERT

7 🖯 9月 福田進一 ギターリサイタル

10月 5⊟ ギターリサイタル 村治奏一

10月18日 長谷川きよし コンサート

らな石が置いてあったという。土をとった時出て

なってしまうのではないだろうか。

塚の上には平

案内は好評だった。この地で育って長い生活の中

次回が待たれる。

地元のIさんの

この地の歴史をよく知っている人だ。その上

ただいてSさんの歩みの補助が出来た。又来てね 今回参加者だったNさんの協力で車を出してい

の頃湖岸堤防工事に使われて丸墳になってしまっ 天魔塚の名をもつ、前方後円墳だったが明治初年

水田の中にあるこの塚もいつかはなく

大井戸古墳(玉里八艘の一つ)は小舟塚、

伝馬塚、

きたものではないだろうか。

太い松の木が何本も

2 🖯 樋浦靖晃(G)&芝草幹夫(FL)コンサート

11月 9 ⊟ 里山と風の声コンサート 亀岡三典(G)

11月16日 おがわゆみこ オカリナコンサート

11月30日 スペイン歌曲コンサート

黄子珊(ソプラノ)&角圭司(ギター)

ギター文化館 〒315-0124 茨城県石岡市柴間431-35

Tel0299-46-2457 Fax0299-46-2628

工房オカリナアートJOY

母なる大地の音を自分の手で 紡ぎ出してみませんか。

あなたの家の庭の土で…、また 大好きな雑木林に一摘みの土を 分けてもらい、自分の風の声を 「ふるさとの風景」に唄ってみ ませんか。

オカリナの製作・オカリナ演奏 に興味をお持ちの方、連絡をお 待ちしています。

行方市浜2465 野口喜広 Tel 0299-55-4411

しいと思う。の学芸員さんにはこういう地元の中でも学んでほの学芸員さんにはこういう地元の中でも学んでほているので、今日は安心してお任せだった。新人文化活動のリーダーとして活動している姿を知っ

きたいものだあらためて思う。 題にされかねない。これは世の常、負けないでいても、大半まるみえという所の所為かもしれない。もあるようだ。平らな所で家並、立木は多少あっもかるようだ。平らな所で家並、立木は多少あっはなかったが、この土地柄というか地理的な理由はなかったが、この土地柄というか地理的な理由

しよう。あるのか。意味はなにかなど、調べておくことにあるのか。意味はなにかなど、調べておくことに無梶川とか梶無川とあちこちあるが何か共通点がりかた、名簿の整理、絵図使用など改善された。前回の反省からいくつかよくなった。受付のや

おまつり紹介を振り返って 兼平智惠子

とご協力の程誠に有り難うございました心より感にほっとするおもてなしを頂いたり温かいご支援出し物のご紹介をして参りました。各町内の皆様出し物のご紹介をして参りました。各町内の皆様出し物のご紹介をして参りました。各町内の皆様出し物のご紹介をして参りました。九月十三(土)、つりまで数える程になりました。九月十三(土)、つりまで数える程になりました。九月十三(土)、つりまで数える程になりました。九月十三(土)、

車、②お礼の言葉(売±喬町)、③存中四組交替の手車、②お礼の言葉(売±喬町)、③存中四組交替の手動の確保など問題を抱えていらしゃいました。旅立ちでよく分からない、おまつりを挙行する人のりの事を語ってくれるはずの歳を重ねた方々のお訪ねした殆どの町内で、世帯数の減少やおま

してはお詫びを申し上げたいと思います。番制度。①②につきましてはご紹介、③に関しま車、②お礼の言葉(宛±橋町)、③府中四組交替の年振り返ってみてめの三件(①金丈町の江戸型山

金丸町の江戸型山車

当会報にてご報告出来ればと思っています。と芸能クラブ」は健在でした。現在六人の子供さ土芸能クラブ」は健在でした。現在六人の子供さ土芸能のラブ」は健在でした。現在六人の子供さ土芸能のラブ」は健在でした。現

お礼の言葉(宛土橋町)

大学特別招聘教授・千葉大学名誉教授)からのお礼状で「常しておまつりに参加なされた村山元英様(シアトル平成二十三年、土橋町の年番の折、土橋町民と

て頂きご紹介致します。 陸国総社宮祭礼年番土橋町写真集」より抜粋させ

意味が生きていることを実感しました。
『石岡祭りの神幸祭に、さしたる知識もなく、
『石岡祭りの神幸祭に、さしたる知識もなく、
『石岡祭りの神幸祭に、さしたる知識もなく、
『石岡祭りの神幸祭に、さしたる知識もなく、
『石岡祭りの神幸祭に、さしたる知識もなく、

衆参加の故郷文化の権威子供も大人も、女も男も、老いも若きも、町石岡の街を町衆と一緒に巡行しながら思うに;なのでしょうか」土橋町の幌獅子と一つになって、なて、「なぜ石岡祭りはどこにもない "幌獅子"

- 持続の知恵と奉仕 3 経済的に無理しない、身の丈に合った、祭り
- 石岡のおまつりが誇れる故郷文化として伝承さの日本文化が、石岡祭りの土橋町に残っていた。」できた。グローバル時代に海外に紹介できる本物の民主主義精神の原点、言い換えると、「和の文化の民主主義精神の原点、言い換えると、「和の文化の民主主義精神の原点、言い換えると、「和の文化の民主主義精神の原点、言い換えると、「和の文化の民主主義を、身体的に学習すること

方法とも思います。 活字として残して行くことが伝承していく最善のれていきますように、次世代に語り継ぎ、そして

府中四組交替の年番制度

ました。

・
おの解釈違いでございました。お詫びを申しあるの解釈違いでございました。お詫びを申しあ

〇、正上内新田(1六五七)、谷向新田(1六五七)、谷向新田(1六五本)、半ノ木新田(1六五本、若松、泉町、出シ山新田(1六三)、府中平村四組の構成は次のようになっています。と府中平村四組の構成は次のようになっています。

室貝組)、行里川新田(一六三五) 仲町組——中町、土橋、木之地、金丸(北組・中之組・

守木組——守木 (上町・中町・下町)、幸町、宮下、

暦は新田開村年府中副本陣森家御用留より作成、括弧内の西

以上のように各町内は四組に分けられ、組内の

いたことになります。町によって四年に一度の年番で祭礼を執り行って

甚に存じます。 介を参考にして頂いて大いに楽しんで頂ければ幸一今年の石岡のおまつりにはどうぞ今までのご紹

・残暑の痛み秋雨に憩う木々 智恵子

【風の談話室】

思っています。これを機に、ぜひにも毎号の投稿いただければと記念すべき100号に、嬉しい投稿がありました。

ています。としての言葉であればどんなことでも良いと考えとしての言葉であればどんなことでも良いと考えがているが、その内容については「ふるさとの風」文化の再発見と創造を考える、を基本軸として掲当会報は、霞ヶ浦を中心とした周辺地域のの歴史

という暮らしの女化を紡ぐ力になるものと思っという暮らしの折々の小さな発見を言葉に落すこという暮らしの折々の小さな発見を言葉に落すたただけたらと思っております。とで、ふるさとの風として言葉に落してお寄せい暮らしの中の喜びの声、怒りの声、悲しみの声、暮らしの中の喜びの声、怒りの声、悲しみの声、

大変うれしく思います。この100号にまた一人、言葉を紡いで頂けた事

ートであると思っています。発見したことを言葉に落して行くことがそのスタふる里に紡がれていく文化とは、日々に発見する、

《読者投稿》

出会い加藤静子

かられる。 和され、清く心に響く、急に子どもの頃の郷愁に 水車が回るきしむ音と、水が流れ落ちる音が調 風に誘われて着いた所は、水車のある里でした。

に春まで待てず、訪ねた。 それからも無性に心惹かれ、風に押されるよう

二月の寒い時である。

ッターを押した。地では嬉しい光景であり、さっそくカメラのシャ地では嬉しい光景であり、さっそくカメラのシャ水車に雪が積もっていて、雪の珍しい、此の土

風味豊かで、それも誘われる所以である。 敷地内にあるお蕎麦屋の手打ちそばも腰があり、

るさと "風" 」である。 そんな折、館内に広報誌が置かれてあった。 「ふ

かれており、自信が持てた。ることの多い私に、共感が持たれる内容の文が書、興味をそそがれ読んで見ると、日頃、うっ積す

つになりました。
それ以来、お願いをして毎月届き、楽しみの一

絵は水車に魅了されて描いてみました。納得することも多く、愛読させて頂いております。い視野、俯瞰された視点から書かれているようでぶことも多く、又良く探究された内容の文も、広ぶ日をもの方の書かれた文には、説得力もあり、学年配の方の書かれた文には、説得力もあり、学

大都会の賑やかな活気ある街で、活力を養うの濯に出かけるのが愉しみになっております。と足を延ばし、美味しいおそばと水の音、心の洗里に近い直売店で沢山の野菜を購入し、ちょっ

も楽しい。

て行くと結構、近くであり嬉しい発見である。小町の里も、名の通り優しい里、車を走らせ

養生日記『夢の花を…』

堀江実穂

で、何で!」
で、何で!」
は達と暮らせなくなってしまったんだ。何で、何供達と暮らせなくなってしまったんだ。何で愛する三人の子今まで健康に暮らしていたのに何で統合失調症にずのことに対してマイナス思考しかできなかった。ディケアに入所して一年半。入所当時は、すべディケアに入所して一年半。

日常生活の中で、ある意味常識では考えられないます。

ってくる人もいる。 あって元彼を刺そうと怒鳴り散らしてOT室に入時って元彼を刺そうと怒鳴り散らしてOT室に入の中をグルグル意味もなく歩いている人。部屋壁や窓に向って独り言を言い続けている人。部屋ってイスを投げつけてしまう人。誰もいないのに通所しています。突然ヒステリックになって怒鳴通のているディケアには、実にいろいろな人が通っているディケアには、実にいろいろな人が

貸してくれと迫ってくる人もいる。さらには五千調症になってしまった人。私の顔を見ればお金を薬物中毒の人もいれば、性同一性障害で統合失

と言う人もいる。 た。草原や駐車場に寝転んで宇宙と交信している円でセックスさせてくれと言い寄ってくる人もい

の毎日でした。

ることが出来る様になってきました。観戦に行ったりしながら日常生活をエンジョイすでカラオケに行ったり、食事をしたり、サッカーアの中も友達が作れるようになり、プライベートレかし、毎日休まず通所している中に、ディケ

持って社会復帰を目指しています。のペースで進めていきながら、自分なりの目標をディケアの人達は、所のプログラムをそれぞれ

ことができました。どして一緒に楽しむことが出来、自己満足も持つ少し前のイベントでは、私も手話歌を披露するなぞれのパフォーマンスを披露する機会もあります。病院全体としての色々な行事などもあり、それ

ます。 を咲かせられるように頑張って行こうと思ってい これからも無理せずマイペースに自分の夢の花

えようという人間行動がなければ、何も生まれなれば反発する人もいる。しかし、言葉に落して伝思いを言葉に落して人に伝える。賛同する人もいの人がそれぞれの暮らしの中にある様々な発見、全ての人に、それぞれの暮らしがあります。其々

これは編者の偏見ではないと思うが…。

い。希望が消えて行く。

《一寸一言・もう一言》

「七州今斤」一寸一言=

先制診断・先制治療」

菅原茂美

展で早期発見できる技術開発を着々と進めていた。 大学で早期発見できる技術開発を着々と進めていた。 大学で早期発見できる技術開発を着々と進めていた。

私は2000年の前立腺癌に次いで、この夏膵 私は2000年の前立腺癌に次いで、この夏膵 「内科医」の指示により、今から7年も前から、膵 は父母兄姉いずれも癌で亡くなっているので、娘 は父母兄姉いずれも癌で亡くなっているので、娘 は父母兄姉いずれも癌で亡くなっているので、娘 に1回も検査を受けてきた(先制診断)。肝臓、腎臓、 に1回も検査を受けてきた(先制診断)。肝臓、腎臓、 を に1回も検査を受けてきた(先制診断)。 下臓、腎臓、 を 手膵臓頭部の嚢庖内粘液が固形化し、いずれ癌に を 手膵臓頭部の嚢庖内粘液が固形化し、いずれ癌に を があり、長い があり、という事で、「た制治療」 があり、という事で、「た制治療」

繋ぎ、 ら国の財政困窮といえども、 例えば認知症夫婦だったら到底不可能な話。いく たので、自宅での患部処置は適正に進んでいるが、 療に感謝します。そして私はフアミリーに恵まれ ドレインは外来で、修複次第順次抜去する。筑波 ま退院という事になった。昔は考えられない事。 で沢山のドレイン(諸々の液を外に出す管)を付けたま 難関の大手術であった。それがわずか術後3週間 人命に関わる事は、 大消化器外科スタッフには本当に心のこもった治 福祉国家とは言えまい。 その空腸に主膵管と輸胆管を開口させる最 膵臟頭部摘出、肝臓一部摘出。 しっかりケアしなければ、真 早期退院強制など、 胃と空腸を

打田昇三

学校に通う。独裁国には珍しく国民には宗教の自 午前クラスと夕方のクラスに分けられており将来 そうなると、多少の不便が有っても全てがワンマ 独裁政治のようなものであるから非難は出来ない 由が保障されていた。 を目指す子供は小学校の合間に自分が目指す職能 れて店頭に並んでいたし、子供の教育も暑いから が、世界的に有名なボスが威張っていたアフリカ ンの指示で動いていた当時が懐かしく思える。 大陸の某国は内部分裂で混乱状態になっている。 耕地も無いのに、ありとあらゆる野菜が輸入さ 考えように依っては日本も限られた政党による

を飛ぶ航空機の離着陸にも、 てがボスの統制下になければならず、例えば国内 ただし独裁者の国であったから、国民生活の全 其のつど決裁が必要

> 空吹かしをしていたパイロットも居たと思う。 トップだけ目立つ政治も国民の為にはならない。 が勢力争いを繰り返して内戦が絶えない。何事も 何処をどうしたのか現在の某国は中途半端な連中 は、スタンバイ出来ずに空港で虚しくエンジンの であり、忙しいボスの行方がつかめない場合など 「良い塩梅」を得ることは難しいが、日本の様に 人間は万能では無いから独裁政治は破綻する。

||もう|||||

「国家資格」というもの

菅原茂美

立派な米国の看護師である。しかし家庭の事情で リフォルニア大学の看護学科を経て、アメリカの という免許証がなければ、同じような仕事をして ていないので、日本の看護師ではない。注射・採 日本に帰ってきたが、日本の国家試験はまだ受け 国家試験に合格。2年間大きな病院で働いてきた ある日の私の担当だった女性の看護助手は、米カ いても、 洗髪・清拭など、下働きである。 血や、点滴調整などできない。患者への配膳や、 この夏の入院中、しみじみ感じた事は「看護師」 あくまでも「看護助手」である。実は、

ぞや…という話もあろう。オランダ・ベルギー・ り固まっている傾向がある。勿論先進G7とは何 法律は、その業界を守るため、かなり排他的に凝 れば、日本の国家資格を与えても良いのではない 家資格を有する者は、当該の審議会などで認可す みじみ感じたのは、G7などに加盟の先進国の国 か…という事。我が獣医師法も同じだが、日本の そこで私がこの現状を何とかできないのかとし

◎隔離させられた患者はそのまま餓死 ◎病院でこそエボラに感染させられる ◎入院すると臓器が抜き取られる のは、おかしいと思う。 っていれば、排他的に他国の有資格者を認めない きは難しいが、国際基準をマスターした技能を持 北欧諸国など、医学の進んだ国は多数ある。

うが、世界の至る所で近隣同士いがみ合っている。 ようなもの。人類は折角脳味噌を膨らましたのな ている。狭量の民族主義など、目糞が鼻糞を笑う の黒人の子孫である。DNA検査がそれを証明し び出し、アラビア半島に辿り着いたわずか数百人 現在、世界人口70億人は7万年前アフリカを飛 小異を捨て、 「人類はみな兄弟」とか口先は立派な事を言 大同に付く度量を持つべきだ。

「エボラ」をめぐる流言

ち込んだ」「医師は生き胆(ぎも)を抜く」など流 ◎欧米人がエボラを持ち込んだ 最近の新聞報道によると、主な流言は… び交い、一層対応を困難に陥れているという。 いが、感染地域では、医療を妨げる「流言」が も治療法もなく、清潔な環境での対症療法しかな する警察や行政が民衆により襲撃されたという。 ラ一揆などが起きたという。そして、隔離を強制 言が流行り、民間療法や呪術が頼られ、更にコレ 「エボラ出血熱」が猛威を奮っている。ワクチン (十万人死亡) が起きた時、「西洋人がコレラを持 今、アフリカ西部諸国で死亡率の非常に高い、 日本でも安政から明治時代にかけ、コレラ騒動

更にニセの治療効果をうたう流言もある。◎政府は支援金を搾取するために捏造している

人は、見慣れぬものには不信感が根強い。肌のしたという。ネット販売で偽薬大流行とか。く…などが流行り、塩水を飲み過ぎて二人も死亡⊘タマネギが利く ◎ライムがいい ◎塩水が利

の生き残りに禍根を残すことになる。 事ではない。WHOは本腰でかからないと、人類方がましだ…。これでは、エボラの鎮圧は、ただにもかも制限される。あー、いっそのこと死んだにもかも制限される。あー、いっそのこと死んだにもがよう連中が、防護服にマスク姿で、臭い消毒の生き残りに禍根を残すことになる。

《ことば座だより》

演劇表現について(2)

白井啓治

では、 た月に続き今月も演劇表現の基本的な考え方に 大月に続き今月も演劇表現の年、2005年5 大手で 大手で 大本を 大が私のもとに来た最初の年、2005年5 大手で 大手で 大手で 大力ると、小林には最初から随分と難しい話しを でみると、小林には最初から随分と難しい話しを でみると、小林には最初から随分と難しい話しを でみると、小林には最初から随分と難しい話しを は上に、こんな面倒な文を毎日読み続けた小林の 以上に、こんな面倒な文を毎日読み続けた小林の 以上に、こんな面倒な文を毎日読み続けた小林の 以上に、こんな面倒な文を毎日読み続けた小林の 以上に、こんな面倒な文を毎日読み続けた小林の 以上に、こんな面倒な文を毎日読み続けた小林の 以上に、こんな面倒な文を毎日読み続けた小林の は、小

したものである。 以下の文は、2005年5月12日に書いて渡

・演劇表現について…

演じる」ことを言います。劇薬の劇と同じです。演劇というのは、読んで字の如く「劇(はげしく)

を表現する事です。を紡ぐ、の実際的内容である「矛盾、対立、葛藤」物語(ドラマ)の本質とは、人間の生きる・暮らし演劇における劇とは、物語(ドラマ)のことをさし、

人間として生きる、暮らすということは、個人 といってよいでしょう。そして、それ がと洞察」といってよいでしょう。そして、それ であれ集団であれ「矛盾と対立」の中に自分を見 のことは人間であるが故の「高次な欲求」に起 がなりません。そして、そのことの は「逡 というのは「逡 ということは、個人

の変化が物語でありドラマであると言えます。のにとっては突然の出来事と言えます。その突然から不幸へ、不幸から幸福へ、その渦中にあるも「はげしく(劇)」ある意味突然のものです。幸福(な求の衝動というのは、低次であれ高次であれ

はありません。言われていますが、その定義は今も変わるもので古代ギリシャの哲学者であるアリストテレスだとドラマということについて初めて定義したのは、

が生れてくる、というものです。行動といわれるもので、それによって物語(ドラマ)を新しい行動に突然に向かわせる。 いわゆる劇的こる事態の急変、 新しい事態の発見・認知が人間この定義を紹介すると、 第一が、 生活の中で起

うになったのです。り、それを物語・ドラマの持つ力と定義されるより、それを物語・ドラマの持つ力と定義されるよのを体内から排泄する、浄化するという意味になするが源義ですが、それから変化して、汚れたも第二は、カタルシスです。カタルシスとは吐瀉

私達が表現しようとしている物語とは、本質的に何だか、えらく難しい話しに思われそうですが、

劇(はげ)しいものですから、その「劇(はげしい)」 というのは、前に書いてお渡ししたように、「心(真 というのは、前に書いてお渡ししたように、「心(真 というのは、前に書いてお渡ししたように、「心(真 というのは、前に書いてお渡ししたように、「心(真 というのは、前に書いてお渡ししたように、「心(真 というあます。演じる側に、命がけの必死 さというものが構築できていないと、観客に感動 さというものが構築できていないと、側(はげしい)」 かんことの中身を自分なりに再構築し、自分の伝えた というます。演じる側に、命がけの必死 に変らす」こと です。演劇表現とは、はげしく(劇)演じるという気 というます。演じる側に、命がけの必死 に変らす」こと でするという活性をもたらすことは出来ないと かえます。

付くことが必要であり不可欠なのです。 しく、愉快であり、無用の遊び」ではなく、シュミ 因みに芸術とは「無用の遊び」ではなく、シュミ 因みに芸術とは「無用の遊び」ではなく、シュミ 因みに芸術とは「無用の遊び」ではなく、シュミ しく、愉快であり、無用の遊びでなくなるのです。 だからこそ「ふるさと」には芸術表現が文化として根 らこそ「ふるさと」には芸術表現が文化として根 りょう ではなく、シュミ しく、愉快であり、無用の遊びでなくなるのです。

×

物語…を描くことが先ずは必要なのである。 ようとしていることの必然性…自分の表現したいウホワイ(know why)が最も重要で、自分が表現しろ音楽にしろノウハウ (know how) ではなくノと思う。しかし、表現の世界というのは、絵にしにはかなり難解で、ややこしい話しであったろうにはかなり難解で、ややこしい話しであった小林いま読み返してみると何の素地もなかった小林

である。
じゅれ行うにとは言うまでも無いことにするに必要となる手段としての表現技術が実現化するに必要となる手段としての表現技術が実現化するに必要となる手段としての表現技術が

礎理論などについて述べてみたいと思う。 ことでもあり、あと二、三回は、こんな表現の基なものであるが、ことば座の公演予定が暫くないかりではなく、興味のない人には唯の落書きの様かりではなく、興味のない人には唯の落書きの様表現論などを論じはじめると膨大な量になるば

【特別企画】

打田昇三の『私本平家物語』

巻第二 - (1 - 2)

一行阿闍梨之沙汰(いちぎょうあじゃりのさた)の

言われている。一行阿闍梨は付け足しのようなものの由来譚(ゆらいたん=譚は談に同じ)から取り入れたと(特に密教)で供養に使った曼荼羅(まんだら=神仏集合図)実は此の章段は本来の平家物語には無くて仏教

が相応しいのである。 であるから、話の筋から言えば題名も「座主奪還」

の場所になる。

叡山大衆は覚悟を決めたのである。 を書われそうだが、ともかく十禅師会議で比がらだと言われそうだが、ともかく十禅師会議で比がら引き渡しを拒否して戦えば二度手間にならず大僧正を奪い返すことである。其の様なことなら最大僧正を奪い返すことである。

「我らは栗津に向かって(流罪護送の隊に追いっき)大いさい」と主だった僧たちが一心不乱に祈りを捧たか目的を達せられれば有難いが、そうでなければ、とか目的を達せられれば有難いが、そうでなければ、とか目的を達せられれば有難いが、そうでなければ、とか目的を達せられれば有難いが、そうでなければ、とか目的を達せられれば有難いが、そうでなければ、とが目的を達せられるのであれば、此の場に於いて、そりがさい」と主だった僧たちが一心不乱に祈りを捧げた。

動寺の住職・乗円律師に仕えていたので師に従って丸は比叡山東塔の南に在る不動明王を本尊とする無は思うけれども、其の若者に神仏が乗り移った。鶴まれていたのかどうか知らないが、少し早すぎるとそれに応(こた)えて奇跡を顕したのである事前に頼すると集団の中にいた鶴丸という十八歳の少年が

部級僧侶の階級らしい。 も依るであろうが僧正、僧都(そうづ)などに次ぐ幹その場に来ていただけである。なお律師とは宗派に

全身に苦痛をみなぎらせ身体中に汗をかいて狂い出全身に苦痛をみなぎらせ身体中に汗をかいて狂い出した。下手な芝居のようにも思えるが証拠が無いから黙って見守る他はない。調子に乗った鶴丸は「我が山の貫主(かんず=座主)を他国に送ることが出来よが山の貫主(かんず=座主)を他国に送ることが出来よが山の貫主(かんず=座主)を他国に送ることが出来よらか、万一にも其の様なことが起これば十禅師権現がかしては幾度生まれ変わったとしても拭うことのでとしては幾度生まれ変わったとしても拭うことのでとしては幾度生まれ変わったとしても拭うことのできない後悔を齎すことになり此の地(比叡山麓)に有神を顔に当てて涙をハラハラと流したのである。の袖を顔に当てて涙をハラハラと流したのである。

の袖を顔に当てて涙をハラハラと流したのである。 の袖を顔に当てて涙をハラハラと流したのでは涙は 会計なことを言えば、袖を顔に当てたのでは涙は が、それを見た裏事情を知らない僧兵た をは奇行を怪しみ当然のことながら権現様の生まれ がでも良いが、それを見た裏事情を知らない僧兵た をは奇行を怪しみ当然のことながら権現様の生まれ をは奇行を怪しみ当然のことながら権現様の生まれ をは奇行を怪しみ当然のことながら権現様の生まれ をは奇行を怪しみ当然のことながら権現様の生まれ をは奇行を怪しみ当然のことながら権現様の生まれ をは奇行を怪しみ当然のことながら権現様の生まれ をは奇行を怪しみ当然のことながら権現様の生まれ をは奇行を怪しみ当然のことながら権現様の生まれ を付けたのである。

を権現堂の大廊下に投げ上げた。 と、其の近くに居た四、五百人の老僧が自分の数珠ずに持ち主に返すように…」リーダーが言い終わるのであれば、その証拠を見せよ!今から我々が持っのであれば、その証拠を見せよ!今から我々が持っ

ところが一同が投げ終わると、被告?は大廊下に

下さ数珠を放り投げたりはしないと思っている。 を主に返したのである。原本には「此物狂ひ走り回ち主に返したのである。原本には「此物狂ひ走り回って拾い集め、少しも違えず一々元の主にぞ配りけって拾い集め、少しも違えず一々元の主にぞ配りけって拾い集め、少しも違えず一々元の主にぞ配りけって拾い集め、少しも違えず一々元の主にぞ配りけって拾い集め、の数珠であるから大曽正を奪い返しに行くの時間がかかる。これから大曽正を奪い返しに行くのに悠長な数珠遊びなどしている暇は無いが喧嘩も辞さないは数珠を使って占いをしたかであろう。大切な感染には名前が書いて有ったのかも知れない。源平数なには名前が書いて有ったのかも知れない。源平数珠には名前が書いて有ったのかも知れない。源平数珠には名前が書いて有ったのかも知れない。源平数珠には名前が書いてもいをしたかである。何よりも僧侶が仏に念い数では無かったのである。何よりも僧侶が仏に念い数では無かったのである。何よりも僧侶が仏に念い数では無かったのである。何よりも僧侶が仏に念い数珠を放り投げたりはしないと思っている。

始したのである。

始したのである。

始したのである。

始したのである。

始したのである。

始したのである。

がしたのである。

がしたのである。

がしたのである。

大僧正だけをその場に残して「さよなら」も言わずえる地域までは緊張していたけれども、何事も無かったのでホッとしながら馬を進めていた。ところがったのでホッとしながら馬を進めていた。ところがったのでホッとしながら馬を進めていた。ところがったのでホッとしながら馬を進めていた。ところがったのでホッとしながら馬を進めていた。ところがったのでまっとも出来るが、見たところ数え切れって追い返すことも出来るが、見たところ数え切れない。僧兵軍団が押し寄せて来ないうちに、明雲に旅を続けられるとは思っていないから比叡山が見に旅を続けられるとは思っていないから比叡山が見して「さよなら」も言わずれない。僧兵軍団が押し寄せて来ない。

人である。 に一目散に逃げ去ってしまったのである。立派な役

配している。

「勅勘の者(天皇から罰せられた者)は陽の光も月の光さえも当たらぬ!と、言われる。まして都から追放さえも当たらぬ!と、言われる。まして都から追放きの役人が職務を放棄して逃げたのであるから、固いことを言わなくても良いように思うが)比叡山の皆さん方よ、私言わなくても良いように思うが)比叡山の皆さん方よ、私言わなくても良いように思うが)比叡山の皆さん方よ、私言わなくても良いように思うが)比叡山の皆さん方よ、私間の光も月の光も関いる。

に寄って次のように言われた。と、先ず一同を制してから、更に僧兵たちの近く

も大切に扱って来たつもりである。是らのことは両を大臣、右大臣を出す家柄)に生まれたが比叡山延暦寺ののみを心掛けて来た。さらに国家の安泰を祈念することも疎かにはしなかった。比叡山の皆さんのこと真言宗なども学んで修行を深め、只々比叡山延暦寺の真言宗なども学んで修行を深め、只々比叡山延暦寺の本人では、右大臣を出す家柄)に生まれたが比叡山延暦寺のを大切に扱って来たつもりである。是らのことは両に大切に扱って来たつもりである。是らのことは両に大切に扱って来たつもりである。是らのことは両に大切に扱って来たつもりである。是らのことは両に大切に扱って来たつもりである。是らのことは両に大切に扱って来たのもりである。

所三聖(りょうしょさんせい=比叡山に祭祀された山王七社の所三聖(りょうしょさんせい=比叡山に祭祀されて山至ないのに、それに報いることも無い。其の様な私の為まず、神仏を恨み奉ることも無い。其の様な私の為まず、神仏を恨み奉ることも無い。其の様な私の為まず、神仏を恨み奉ることも無い。其の様な私の為の御芳志にこそ、お礼を申し上げなければならないのに、それに報いることが出来ないのが心残りである…」

明雲大僧正は丁子(ちょうじ)で染めた高価な着衣の袖を濡らすほど涙を流されたのであるが、誰とも無似の大衆も皆、涙にくれたのであるが、誰とも無信とうか、お乗りください」と申し上げた。然し大「どうか、お乗りください」と申し上げた。然し大「どうか、お乗りください」と申し上げた。然し大「どうか、お乗りください」と申し上げた。然し大「どうか、お乗りください」と申し上げた。然し大「どうか、お乗りください」と申し上げた。然し大「どうか、お乗りください」と申し上げた。然し大「どうか、お乗りください」と申し上げた。然し大「どうか、お乗りください」と言われた比叡山衆徒の貫主は、涙にくれたので、押し掛けた比の袖を濡らすほど涙を流されたので、押し掛けた比の袖を濡らすほど涙を流されたので、押し掛けた比の袖を濡らすほど涙を流されたので、押し掛けた比の神を濡らすによっている。

「道を開けろ」と言いながら出て来たのであるから持たせ、自分では白い柄の大長刀を杖代わりにしてようぼうのあじゃりゆうけい)と言う荒法師が群衆を押じょうぼうのあじゃりゆうけい)と言う荒法師が群衆を押じょうぼうのあじゃりゅうけい)と言う荒法師が群衆を押じょうぼうのあじゃりゅうけい)と言う荒法師が群衆を押されまい。回忆の大長刀を杖代わりにして大が黒い鎧の垂れた部分を頑丈そうに長めに拵えた人が黒い鎧の垂れた部分を頑丈そうに長めに拵えた人が黒い鎧の垂れた部分を頑丈そうに長めに持えた人が黒い鎧の垂れた部分を頑丈そうに表が、と言いながら出て来たのであるから持たせ、自分では白い杯の大長刀を杖代わりにしている。

降ろしてから言った。を睨みつけ、と言うよりも上から恐ろしい形相で見ない。明雲大僧正の前まで来た祐慶阿闍梨は大僧正大僧正の周りに居た僧兵たちも避けない訳にはいか

早く輿にお乗りください!」が、この度のような災難に逢われる原因なのです。が、この度のような災難に逢われる原因なのです。

大僧正も、恐ろしい僧兵に睨まれたまま歩くより大僧正も、恐ろしい僧兵に睨まれたまま歩くよりでながら大僧正の輿を比叡山に担ぎ手には身分の低い出したことを実感して、腰の担ぎ手には身分の低い出したことを実感して、腰の担ぎ手には身分の低い出したことを実感して、腰の担ぎ手には身分の低い出したことを実感して、腰の担ぎ手には身分の低い出したことを実感して、腰の担ぎ手には身分の低い出したことを実感して、腰の担ぎ手には身分の低い出したことを実感して、腰の担ぎ手には身分の低い出したことを実感して、腰の担ぎ手には身分の低いで学僧として名の知れた修学僧が当たることにないでがら大僧正の輿を比叡山に担ぎ上げたのである。ども、祐慶阿闍梨だけは輿の前方を担いで替わることなく、杖代わりの大長刀を砕けよとばかりに大地となく、杖代わりの大長刀を砕けよとばかりに大僧兵に睨まれたまま歩くより、大僧正も、恐ろしい僧兵に睨まれたまま歩くより、大僧正も、恐ろしい僧兵に睨まれたまま歩くより、大僧正も、恐ろしい僧兵に睨まれたまま歩くより、

と思わないこともない。 と思わないこともない。 と思わないこともない。 本来ならば「どうするか対策会議大講堂前に置き、今後のことをどうするか対策会議大講堂前に置き、今後のことをどうするか対策会議がしたのであるが、どの世界にでも反対意見は有成功したのであるが、どの世界にでも反対意見は有成功したのであるが、どの世界にでも反対意見は有

僧正)を奪い返して来たけれども、天皇・法皇の命にがあった。「…そもそも、我らはこの様にして貫主(大会議では「慎重派」と見られる幹部から先ず発言

申して良いもので有ろうか?」と。より罪人とされたお方を再び天台座主としてお迎え

闍梨が、またしても前に進み出てきて言った。 すると、奪還作戦では肉体的に貢献をした祐慶阿

明雲大僧正を奪い返して来たけれども延暦寺として、 申し渡された。このことは比叡山全体のみならず、 べきお方であられたが、この度、罪無くして流罪を 徳をもって比叡山全山の受戒の師であり、尊師たる れたりはしないと思うが…)。 侶・僧兵たちの見識は高く、身分の低い僧まで世間 劣無く行われている。其れによって比叡山に居る僧 威光が盛んであり仏法と王法(天皇の行う政治)とが優 叡山で無くても良いのであろうけれども…) さらに山王の御 まうことが心配である。 る高僧を失って、学問が中途半端なものになってし よりも此処で修行を続ける多くの僧侶たちが師とな それで終わってしまったのでは何の意味もない。何 は嘲り(あざけり)を受けることになる。今、我々は 都中の者が憤慨していることであろう。また比叡山 して、是まで三千の僧侶の貫主であられた。さらに から軽んじられることが無かった(見識の高い集団が暴 双の霊地であり、国家の安泰を祈願する道場である に対抗する興福寺(奈良)、或いは三井寺(園城寺)に (これは仏教上の考え方で誰かが決めたものであるから、別に比 「そもそも当山(天台宗本山比叡山延暦寺)は、日本無 明雲大僧正は知恵高貴に

と言い切り、はらはらと涙を流した。名誉であり、冥土への思い出とする覚悟である!」れても、或いは首を刎ね(はね)られようとも今生のが責任を取り、牢獄に投ぜられても、流罪にさせらき、もし、其のことが罪になるのであれば此の祐慶

そこまで言われると、誰も賛同しない訳にはいか

七日七夜の間は日の光も月の光も無い中を歩かさ

意味で「いかめ房」と呼ぶようになった。祐慶のことを「いかめしい(翌ろしい)法師」と言うない。一同が「尤もである」と応じた。それからは

かであるが、重大犯とされて暗穴道を行かされた。 けで関梨の場合は内容的には犯罪になるかならないは帝王が通る輪池道、二番目は身分の低い者が使うとなった。其処へ行くには三つの経路が有り、一つ間に浮名を流され無実の罪でアフガニスタンへ流罪間に浮名を流され無実の罪でアフガニスタンへ流罪間に浮名を流され無実の罪でアフガニスタンへ流罪間に浮名を流され無実の罪でアフガニスタンへ流罪は帝王が通る輪池道、二番目は身分の低い者が使うとなった。其処へ行くには三つの経路が有り、一つは事情に対しているが、原文では唐の第六代皇帝である玄宗のが無かった「一行阿闍梨」を最後に紹介することにが無かった「一行阿闍梨」を最後に紹介することにが無かった。

御神輿である。

れる。僧兵たちが都に繰り出して居たのは山王社の国天台山に在った山王祠に倣って勧請したと伝えら三輪の神(大物主の神)なのだが、伝教大師・最澄が中

「日吉(ひえ)山王」である。祭神は大和三輪山の大

薩・諸天像図)である―というのが平家物語の内容であ 曼荼羅(くようのまんだら=密教で宇宙の真理を表わす仏菩 或いは谷底にと彷徨い続けた。聞こえるものは山鳥 と日本と両国に真言宗の本尊として伝わる「九耀の の袖に血染めの九耀の形を写し出した。これが中国 行阿闍梨は是を書き残すために、右の指を噛んで左 木、金、土の各星を出現させ守っててくれたので一 も無かったが、天が是を憐れんで日、月、火、水、 の声ばかり、法衣も無実の濡れ衣と化して乾くこと れた。当たり前のことだが道に迷い、或いは山深く、

そ)の下に黒子があるから「野辺にて死する相」と出 を占ったところ、皇帝は背中に紫色の黒子(ほくろ) 色が入って、 す…」と申し上げた。 から、顔を見ただけでも身体中のことが分かるので 重臣たちが「一行さんは天下第一の占い師でもある たからであろう…と邪推をして怒り出した。 周りの 言え、臍の下の黒子を知っているのは、 た。これを皇帝が聞いて、 が有るので、これは「思い死にの相」、楊貴妃は臍(イ 同じ内容でも源平盛衰記のほうは少し人間的な脚 一行阿闍梨が玄宗皇帝と楊貴妃のこと 如何に占いが正しいとは 実物?を見

七夜の暗黒街道を歩かされることになったのである を捏造したのである。その結果、一行阿闍梨は七日 妃と一行阿闍梨という異色のコンビによるロマンス 邪魔だと思うようになり、黒子事件に便乗して楊貴 く出来ていて、 が自分が一層、高い地位に昇るには立派すぎる師が をした。この僧も学徳のある立派な僧侶なのである と言う僧が天魔に魅入られたように師を裏切る行為 と鑁陶闍梨行の弟子で賢 因果応報を売りとする仏教説話であるから上手 間もなく無実が証明されて許され、 (けんばんあじゃり)

> 然鍛建里盤な無が裂性砂類 密鑁簡闍饗が暗黒街道を歩くことになった。

は面白いと思う。 である。一般には知られて居らずまた平家物語にも どの名僧と協力して密教の確立に貢献した。 ドから来た善無畏(ぜんむい)、金剛智(こんごうち)な 直接の関係は無いが、 で不朽の価値とされる著書の選定にも貢献したよう 道の穴に落ちて地獄まで行ってしまった。 名僧であり、玄宗皇帝に乞われて宮殿に住み、 実在の一行阿闍梨は禅、律など広く仏教を修めた そういうことを教えてくれるだけでも平家物語 歴然たる史実のようであるか 。仏教界 イン

するような此の章段は、 出始めてくる。出来は良くないが、 て頂きたい。 盤石であった平家政権に対するあからさまな反抗が 本題の平家物語は、 その 次の章段「西光被斬」から 「前座」 因果応報を主張 であると思っ (続く)

Ŝ の ≫

アレンジ蕎麦・蕎麦会席料理のお店です。

看板娘(犬)「うらら」ちゃんが 皆さんをお迎えいたします。

(ギター文化館通り)

電記0299-43-6888

T315 - 000

編集事務局

Tel

http://www.furusato-kaze.com (白井啓治方)

会報「ふるさと風」100 号祭

会報「ふるさと "風"」が9月号をもって通刊100号を迎えます。 100号を記念して、「ふるさと風100号祭」を開催いたします。

> 9月21日、22日、23日香丸通り/みんなの広場2F (午前10時~午後4時半 入場無料)

創刊号から8年4ヶ月の歩み展をはじめ、記念講演会、朗読会などを企画しております。また会場には兼 平智惠子のふるさと散歩絵と常世の国の五百相の展示も行います。

9月21日(日)14:30~ 記念講演「文化力がふる里を救う」講師:市川紀行

公演のプロローグとして小林の幸江の手話舞「筑波山を詠んだ万葉集」

9月22日(日)14:30~ 朗読会「新鈴ヶ池物語」

朗読会「新説柏原池物語」 9月23日(日)14:30~

※みんなの広場には駐車場がありませんので、車でお越しの方は、図書館前のイベント広場に駐車して ふるさと風の会 徒歩(約5分)でお出でくださいますこと、お願い申し上げます。